

梅鶯仏教壮年

第33号
2006年
4月9日

新役員決定

会長 田中 薫
副会長 森 勝昭
副会長 田中 善博
会計 北村 新一郎
監事 北村 幸雄

去る三月十八日に開催された総会において、新役員が選出されました。新会長には田中薫さんが選出され、北村前会長を引き継ぐこととなりました。なお、任期は全役員とも3年で、平成21年3月末までとなります。

平成十八年度行事予定

5月28日(日)	例会
7月30日(日)	例会
9月23日(土)	研修親睦旅行
1月24日(日)	報恩講
1月25日(土)	竹灯籠除夜会
1月28日(日)	例会
3月13日(土)	役員会
3月17日(土)	総会

*会費も年間二千円に改定されましたのでよろしく。

ご挨拶申し上げます

新会長 田中薫

今冬は、かなりの年輩の方でも記憶にないであろう十二月の大雪に始まり、東京の桜満開の折には湖北で思いがけない名残雪という、何か大陸的な気象に見舞われてきたようなやくここにくて春の足音が聞こえてきました。そんな折り、私の身近に人生最高の喜びと最大の悲しみを、わずかにケ月の間に経験された女性がいました。彼女は二十九歳、私の会社の事務員として七年間勤められた方で、この三月十一日、「エキシブ琵琶湖」で、彼女にとつて人生最愛の男性とめでたくに結ばれました。そして、新婚旅行は四月一日からニュージランドに行くこととなつていました。ところが、何ということでしょう。新婚旅行出発の前々日に、けがのない愛するお父さんを事故で亡くしたのです。お父さんは私とはほぼ同年で、まだこれからの方でした。お通夜で、私は彼女に一番つらいのは、お母さんだよ。新婚旅行から帰ったらお母さんをしっかりと守つてあげてね。」と声を掛けるのが精

一杯でした。

い彼女にとつて、どんなにもつらい新婚旅行だったでしょう。人生の無常を身近に感じた次第です。

さて、「梅鶯仏教」は早くも発足三年となり、歳月の流れの速さに今更ながら「光陰矢のごとし」の諺を実感しています。

私も今年、数え年で六十歳となり、晴れて(？)老人クラブのメンバーとなりました。

六十歳と言えど還暦、「赤いちゃんちゃんこにすぎん」を着たおじいちゃんそのイメージでしたが、

いざ自分がその年になれば、まったく「その気分」とはかけ離れた自分がいます。

六十歳はまだまだ「はな垂れ小僧」。

前会長北村喜代信氏の足跡を汚さぬよう「梅鶯仏教」の新会長として気力・体力を充実させ、健康に気をつけて自分なりに精一杯奉仕させていただこうと思っております。

致します。これからもよろしくお願い致します。

#####

相田みつを

道は自分でつくる

道は自分でひらく

人のつくったものはじぶんの道にはならない

